

平成 21 年度（第 37 回）

札幌文化奨励賞

下 沢 敏 也
しもざわ としや

【受賞功績の紹介】



平成 2 年陶工房「SHIMOZAWA」設立。明日への展望につながる「再生」という大きなテーマに取り組み、陶に鉄粉を混ぜたダイナミックなインスタレーションから、内部に明かりを取り込み、ガラスとコラボレートした柔らかみ溢れる作品など、幅広い作品製作を行い、個展やグループ展を数多く開催し、札幌の美術界にインパクトを与え続けている。

また、北海道陶芸協会の「北海道陶芸展」「北海道高齢者陶芸展」の実行委員長として、北海道の陶芸界をリードし続ける一方、大学や専門学校の非常勤講師や文化講座の講師など、教育者としての実績も優れ、その活動は本市の文化振興に大きく貢献するものであり、奨励に値する。

【受賞者の主な経歴】（受賞時点の内容です）

昭和 53 (1978) 年	北海道陶芸協会 従事
昭和 57 (1982) 年	信楽研修受講
平成 2 (1990) 年	陶工房 SHIMOZAWA 設立
平成 9 (1997) 年	ニューヨーク Parsons school of Design 研修受講

【主な個展】

平成 6 年 (1994)	R-BOX (札幌) '98
平成 12 年 (2000)	TEMPORARY SPACE (札幌)
平成 13 年 (2001)	ギャラリーマロニエ (京都) ギャラリー創 (奈良) '02, '03
平成 14 年 (2002)	ギャラリー Merissa (東京) アクサンギャラリー (大阪) '03, '05
平成 15 年 (2003)	ギャラリーにしかわ (京都)
平成 17 年 (2005)	伊丹市立工芸館 (伊丹市) hokusen gallery ivory (札幌)

平成 20 年 (2008) 「風化から森へ」 (GALLERY 門馬 ANNEX)
平成 21 年 (2009) 「RE-BIRTH」 (札幌・ギャラリー創) 他

【主なグループ展】

平成 4 年 (1992) 陶二人展 (札幌・パルコパレードギャラリー)
平成 8 年 (1996) 「土と草木による」 (札幌・中森ギャラリー)
平成 9 年 (1997) 「生まれ出ずる土塊」 (札幌セントラルスカイホール)
平成 11 年 (1999) 「土と草木による」 (札幌・セントラルスカイホール)
平成 12 年 (2000) 「VISUAL POETRY in SAPPORO」 (道立文学館)
平成 15 年 (2003) 「北海道立体表現展'03」 (道立近代美術館) '06、'08
平成 19 年 (2007) 札幌美術展 札幌を彩る作家たち III (札幌市民ギャラリー)
「交差する視点とカタチ」 (札幌・コンチネンタルギャラリー)
阿部典英、川上力三、下沢敏也
平成 20 年 (2008) 響韻と、「在る」 (石狩・Art Warm)
「交差する視点とカタチ vol.2」 (札幌・コンチネンタルギャラリー)
阿部典英、鯉江良二、艾沢祥子、下沢敏也
平成 21 年 (2009) SAPPORO ART PLANETS 展 (札幌・JRタワープラニス H)
「交差する視点とカタチ vol.3」 (札幌・コンチネンタルギャラリー)
阿部典英、加藤委、川上りえ、下沢敏也 他

・公共空間における設置作品

・神戸デザイン村 (神戸) ・ Accent BLD (大阪) ・ gallery るぷぶん (奈良) ・ 三菱地所
サンクタス大森 (東京) ・ ウィステリア N17 (札幌) ・ ロジェガーデンプレイス
(札幌) ・ 草津タワー (滋賀県・草津市) ・ ロジェ宮の沢 (札幌)

現在 北海道芸術デザイン専門学校非常勤講師
北海道文化団体協議会常任理事
札幌市文化団体協議会常任理事